【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2004-26925(P2004-26925A)
【公開日】平成16年1月29日(2004.1.29)
【年通号数】公開・登録公報2004-004
【出願番号】特願2002-182739(P2002-182739)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｊ　5/18
　Ｃ０８Ｆ 251/02
　Ｃ０８Ｋ　5/00
　Ｃ０８Ｌ　1/10
　Ｇ０２Ｂ　5/30
　Ｇ０２Ｆ　1/13363
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｊ　5/18　ＣＥＰ
　Ｃ０８Ｆ 251/02
　Ｃ０８Ｋ　5/00
　Ｃ０８Ｌ　1/10
　Ｇ０２Ｂ　5/30
　Ｇ０２Ｆ　1/13363

【手続補正書】
【提出日】平成17年3月18日(2005.3.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　酢化度が５９．０乃至６１．５％の範囲にあるセルロースアシレート、およびセルロースアシレート１００質量部に対して、レターデーション上昇剤を０．０１乃至２０質量部含有し、かつ、セルロースアシレート１００質量部に対してエチレン性不飽和モノマー２０乃至５０質量部がセルロースアシレートフィルム中において重合されたセルロースアシレートフイルムであって、下記式（Ｉ）により定義されるＲｅレターデーション値が０乃至７０ｎｍの範囲にあり、かつ、下記式（II）により定義されるＲthレターデーション値が７０乃至４００ｎｍの範囲にあることを特徴とするセルロースアシレートフィルム。
（Ｉ）　Ｒｅ＝（ｎｘ－ｎｙ）×ｄ
（II）　Ｒth＝｛（ｎｘ＋ｎｙ）／２－ｎｚ｝×ｄ
（式中、ｎｘはフイルム面内の遅相軸方向の屈折率であり、ｎｙはフイルム面内の進相軸方向の屈折率であり、ｎｚはフイルムの厚み方向の屈折率であり、ｄはフイルムの厚さである。）
【請求項２】
　酢化度が５９．０乃至６１．５％の範囲にあるセルロースアシレート、およびセルロースアシレート１００質量部に対して、レターデーション上昇剤を０．０１乃至２０質量部を含有し、セルロースアシレート１００質量部に対して、エチレン性不飽和モノマー２０乃至５０質量部がセルロースアシレートフィルム中において重合されたセルロースアシレートフイルム上に、液晶性化合物から形成された光学異方性層が備えられてなる光学補償

フィルムであって、該セルロースアシレートフィルムは下記式（Ｉ）により定義されるＲｅレターデーション値が０乃至７０ｎｍの範囲にあり、かつ、下記式（II）により定義されるＲthレターデーション値が７０乃至４００ｎｍの範囲にあることを特徴とする光学補償フィルム。

（Ｉ）　Ｒｅ＝（ｎｘ－ｎｙ）×ｄ

（II）　Ｒth＝｛（ｎｘ＋ｎｙ）／２－ｎｚ｝×ｄ

（式中、ｎｘはフイルム面内の遅相軸方向の屈折率であり、ｎｙはフイルム面内の進相軸方向の屈折率であり、ｎｚはフイルムの厚み方向の屈折率であり、ｄはフイルムの厚さである。）

【請求項３】

偏光膜およびその両側に配置された二枚の透明保護膜からなる偏光板であって、透明保護膜の一方が、請求項１に記載のセルロースアシレートフィルムまたは請求項２に記載の光学補償フィルムからなることを特徴とする偏光板。

【請求項４】

液晶セルおよびその両側に配置された二枚の偏光板からなり、偏光板が偏光膜およびその両側に配置された二枚の透明保護膜からなる液晶表示装置であって、液晶セルと偏光膜の間の透明保護膜のうちの少なくとも一方が、請求項１に記載のセルロースアシレートフィルムまたは請求項２に記載の光学補償フィルムからなることを特徴とする液晶表示装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

【課題を解決するための手段】

本発明の上記諸目的は、下記（１）のセルロースアシレートフィルム、（２）～（６）の光学補償フィルム、（７）の偏光板、および下記（８）および（９）の液晶表示装置により達成された。

（１）酢化度が５９．０乃至６１．５％の範囲にあるセルロースアシレート、およびセルロースアシレート１００質量部に対して、レターデーション上昇剤を０．０１乃至２０質量部含有し、セルロースアシレート１００質量部に対してエチレン性不飽和モノマー２０乃至５０質量部がセルロースアシレートフィルム中において重合されたセルロースアシレートフイルムであって、下記式（Ｉ）により定義されるＲｅレターデーション値が０乃至７０ｎｍの範囲にあり、かつ、下記式（II）により定義されるＲthレターデーション値が７０乃至４００ｎｍの範囲にあるセルロースアシレートフィルム、

（Ｉ）　Ｒｅ＝（ｎｘ－ｎｙ）×ｄ

（II）　Ｒth＝｛（ｎｘ＋ｎｙ）／２－ｎｚ｝×ｄ

（式中、ｎｘはフイルム面内の遅相軸方向の屈折率であり、ｎｙはフイルム面内の進相軸方向の屈折率であり、ｎｚはフイルムの厚み方向の屈折率であり、ｄはフイルムの厚さである。）

（２）酢化度が５９．０乃至６１．５％の範囲にあるセルロースアシレート、およびセルロースアシレート１００質量部に対して、レターデーション上昇剤を０．０１乃至２０質量部含有し、セルロースアシレート１００質量部に対してエチレン性不飽和モノマー２０乃至５０質量部がセルロースアシレートフィルム中において重合されたセルロースアシレートフイルム上に、液晶性化合物から形成された光学異方性層が備えられてなる光学補償フィルムであって、該セルロースアシレートフィルムは下記式（Ｉ）により定義されるＲｅレターデーション値が０乃至７０ｎｍの範囲にあり、かつ、下記式（II）により定義されるＲthレターデーション値が７０乃至４００ｎｍの範囲にある光学補償フィルム、

（Ｉ）　Ｒｅ＝（ｎｘ－ｎｙ）×ｄ

（II）　Ｒth＝｛（ｎｘ＋ｎｙ）／２－ｎｚ｝×ｄ
（式中、ｎｘはフイルム面内の遅相軸方向の屈折率であり、ｎｙはフイルム面内の進相軸方向の屈折率であり、ｎｚはフイルムの厚み方向の屈折率であり、ｄはフイルムの厚さである。）
（３）レターデーション上昇剤が、少なくとも一つの１，３，５－トリアジン環を有する、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）に記載の光学補償フィルム、
（４）前記の液晶性化合物が円盤状液晶性化合物である、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）もしくは（３）に記載の光学補償フィルム、
（５）前記のセルロースアシレートフイルムが、共流延法により製膜されている、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）～（４）いずれか１つに記載の光学補償フィルム、
（６）光学異方性層に用いる液晶性化合物が円盤状液晶性化合物であり、円盤状構造単位の面が、ポリマー基材表面に対して傾き、且つ円盤状構造単位の面とポリマー基材表面とのなす角度が、光学異方性層の深さ方向に変化している、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）～（５）いずれか１つに記載の光学補償フィルム、
（７）偏光膜およびその両側に配置された二枚の透明保護膜からなる偏光板であって、透明保護膜の一方が、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）～（６）に記載の光学補償フィルムからなる偏光板、
（８）液晶セルおよびその両側に配置された二枚の偏光板からなり、偏光板が偏光膜およびその両側に配置された二枚の透明保護膜からなる液晶表示装置であって、液晶セルと偏光膜の間の透明保護膜のうちの少なくとも一方が、（１）に記載のセルロースアシレートフィルムまたは（２）乃至（７）いずれか１つに記載の光学補償フィルムからなる液晶表示装置、
（９）液晶セルが、ＯＣＢモード、ＶＡモードまたはＴＮモードの液晶セルである（８）に記載の液晶表示装置。